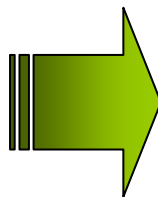


調査結果の公表等

現 状

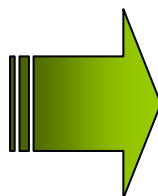
速報(第1報)

- ・主要項目を概数として取りまとめ、調査終了日から原則、5ヶ月以内に公表。
- ・平成16年度 155本
- ・ホームページへの掲載のほか、記者レクなど。(報道機関等へは、印刷物による配布)



報告書

- ・調査結果の詳細を取りまとめ、調査終了日から原則、10ヶ月以内に公表。
- ・平成16年度 49冊
- ・冊子のほか、「農林水産統計情報総合データベース」に掲載。



検討すべき課題

- ・公表の早期化による統計データの鮮度の向上。
- ・政策部局が利用することを重視した表現となっており、国民に対しては、分かりやすい表現となっていない。
- ・前年との比較などによる事実を解説しているだけで、特徴が分かりにくい。
- ・国民に対しては、ホームページのみの提供となっている。

- ・公表の早期化による統計データの鮮度の向上。
- ・報告書の解説は、速報とほぼ同じ内容にとどまっている。
- ・配布先が固定的であり、報告書を必要としているユーザーとの間にミスマッチが出ている可能性がある。

現 状

農林水産統計月報

- ・農林水産業に関する主要統計を中心に、月別動向等について取りまとめ、毎月15日に公表。
- ・冊子として配布。

ポケット農林水産統計

- ・農林水産業に関する主要統計を中心に広範囲かつコンパクトに取りまとめ、1年1回、6月に公表。
- ・冊子による配布。
- ・この他分野別の「ポケット統計」として、「園芸」、「畜産」、「水産」、「食品」がある。

検討すべき課題

- ・配布先が固定的であり、月報を必要としているユーザーとの間にミスマッチが出ている可能性がある。
- ・速報、報告書との位置づけが不明確になっている。

- ・配布先が固定的であり、「ポケット農林水産統計」を必要としているユーザーとの間にミスマッチが出ている可能性がある。
- ・「ポケット農林水産統計」と分野別の「ポケット統計」との間で、内容の重複がある。

ホームページによる提供

現 状

ホームページ

- ・統計部ホームページでは、速報等の統計データのほか、統計書、センサスの紹介などを掲載。
- ・内容の拡充、更新履歴の追加や、ユーザーインターフェースの改善を平成17年4月に予定。

農林水産統計情報総合データベース

- ・農林水産統計データの検索、加工、分析が可能なシステムとして平成15年4月から運用。
- ・各種調査の年次別報告書及び累年データを蓄積。
- ・平成15年度のアクセス数は、約30万件。

検討すべき課題

- ・今回の改善は、主に見た目や、使いやすさの観点からの改善にとどまっている。

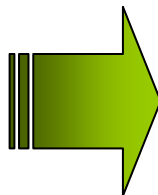
- ・もっと国民から幅広く活用してもらうことが課題となっている。
- ・検索機能が使いにくいなど、ユーザーインターフェースの改善が必要である。

ホームページによる提供

現 状

グラフと絵で見る食料・農業

- ・グラフやイラストを多用し、ビジュアルな表示により、親しみやすく加工した統計情報を提供することを目的に、統計データに関連情報を付加して提供。
- ・平成15年度のアクセス数は、14万件

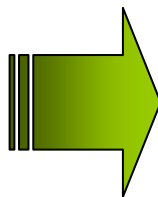


検討すべき課題

- ・構成が固定的であり、多様な利用者のニーズに
応えていない。
- ・テーマごとにフォーマットが異なり統一性がない。
- ・グラフや統計データをダウンロードできない。

わがマチ・わがムラ - 市町村の姿 -

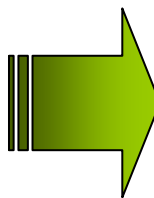
- ・農林水産省の統計データのほか、他府省の統計データを利用し、市町村の経済、農林水産業の現状をグラフ等に取りまとめて提供。
- ・平成15年度のアクセス数は、220万件



- ・統計データやグラフを見るだけでは、市町村の農業の実態や特徴がわからない。
- ・グラフや統計データをダウンロードできない。

〈検討の視点〉

- ・ユーザーのニーズに即した提供方法。
- ・受け身ではなく、積極的な情報発信。
- ・手軽に持ち歩ける統計資料の作成。



〈新たな提供方法〉

例えば、
メールマガジン

ホームページ上からダウンロードして活用
可能なコンパクトな統計

など

農林水産統計の加工・分析

現 状

- ・加工・分析は、地方農政局政策部局からのニーズに即し、地域農林水産施策の推進上必要とされる加工・分析を実施。
- ・加工・分析の視点としては、担い手、耕作放棄地等の個別政策テーマに関するもの、地域農林水産業の現状・実態に関するもの、小学校の副読本として利用できるもの等に大別される。
- ・加工・分析の手法や内容は、時系列比較による結果をグラフや統計表を用いて解説したものが多い。
- ・加工・分析の結果は、地方自治体、農林水産業関係機関、教育機関、消費者団体等に分析テーマに応じて主として冊子で提供。

検討すべき課題

- ・時系列比較以外の分析手法を用いているものが少ない。
- ・分析結果のプレゼンテーションが十分でない。